

マスコミ・その他
ご関係者各位
プレスリリース

2020年12月吉日

新刊カード教材

『「たすけて！」は生きぬくための合言葉

レジリエンスが育つ◎たすけ合い体感ゲーム』

小学校3年生から



著者：上島 博

編者：子どものレジリエンス研究会

出版元：合同出版

出版年：2020年12月20日

サイト：<https://www.godo-shuppan.co.jp/book/b547761.html>

内容紹介

たすけてもらう、たすけてあげる。お礼を言う、お礼を言われる。
レジリエンスを楽しくはぐくみながら、たすけ合いを体感！みんなで
「いい気持ち」になるゲーム。

遊び方

- ① 参加者を2～6班に分ける。(各班3～7人)
- ② 各班の進行役(親)は、「おたすけカード」を全員に配る。「できごとカード」はシャッフルして机のまんなかにならべておく。
- ③ 順番に「できごとカード」の山から1枚を取って読み上げる。



★「ハッピー」が出た！

友だち（同じ班の人）は「よかったね！」と言ってあげましょう。

★「おこまり」が出た！

- ・自分の持っている「おたすけカード」にぴったりのアイテムあったら解決！
- ・自分で解決できなかつたら友だちに相談し、友だちのカードで解決！
- ・友だちも解決できなかつたら、友だちは他の班に探しに行きましょう。

④ 「できごとカード」がなくなったらゲーム終了。

セット内容

- できごとカード：60枚（内、自作用白紙カード3枚）×2
- おたすけカード：60枚（内、自作用白紙カード3枚）×2
- 説明書：1冊（16ページ）

■プレイ人数：6～40人

■カードサイズ：タテ89×ヨコ63^ミ

■定価＝本体3600円＋税

■ISBN978-4-7726-5502-6 C8037 NDC370

著者からのメッセージ

このカードゲームは、困った時に助けを求める力、「援助希求力」を高めようと企画されたものです。

困った出来事とそこに役に立つ道具をマッチングするだけのシンプルなルールながら、実際やってみるとびっくりするほど盛り上がります。それは、ゲームの活動の中で、「助けを求める」「助けてあげる」「友だちのために、他の人に助けを求める」「お礼を言う」など、対人関係の体験が自然とできるように設計されているからです。たとえば、人を助ける道具を自分が持っていて助けてあげる時のうれしさ、友だちが自分のために骨を折ってくれるありがたさ…。まさに、たすけ合いの喜びを「体感」できるゲームです。多くの子が、「このゲームをするといい気持ちになった」と感想を言ってくれました。

楽しみながらも、困った時は人に助けを求めればいいのだということを学びます。これは、逆境を生き抜くレジリエンス（回復力）とつながるものでもあります。

コロナ禍の下にある子どもたちに、ぜひ届けたいと願っています。

プロフィール

上島 博 【著】

子どものレジリエンス研究会代表

奈良県公立小学校教諭（定年退職）

現在：小学校非常勤講師

資格：小学校教諭、保育士、子ども支援士

学会：日本子ども社会学会 日本子ども支援学会



子どものレジリエンス研究会【編】

学校教育でのレジリエンスの重要性・可能性に気づいた小中学校の教員、養護教員を中心としたメンバーが集まり、2006年に発足。主に学校の授業で使える教材づくりと実践を進めてきた。2010年、レジリエンス教育がおこなわれているオーストラリアの学校や研究所の視察を実施。その他、ストレスマネジメント、アンガーマネジメント、自殺予防教育、不登校支援などの研修をおこない、実践に生かしている。また、その成果を教材集として公開している。

～ぜひ、本教材をみなさまにご紹介いただける機会をいただければ幸いです。

ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。～



【ご注文】 合同出版物流センター

TEL 048-291-9412 (平日 8:30～17:00 まで) / FAX 048-291-9414

Eメール godo-chumon@godo-shuppan.co.jp

【お問合せ】 合同出版株式会社

〒101-0051 千代田区神田神保町 1-44 / TEL 03-3294-3506 / FAX 03-3294-3509

Eメール info@godo-shuppan.co.jp (担当:編集部 須貝)